

2016年廃タイヤ（使用済みタイヤ）リサイクル状況

一般社団法人日本自動車タイヤ協会

1. 発生量

2016年（1～12月）の日本国内における廃タイヤ（使用済みタイヤ）の発生量は、「タイヤ取替え時」「廃車時」の合計で、本数では9,400万本、重量では99万7,000トンと、前年と比較して本数で100万本減少、重量で3,000トン減少した。

① タイヤ取替え時

「タイヤ取替え時」の発生量は、本数では8,100万本、重量では87万9,000トンと、前年と比較して本数は同数ながら重量は増加した。

これは、乗用車用タイヤの販売本数が減少し、小形トラック用及びトラック・バス用タイヤの販売本数が増加したことが影響している。

② 廃車時

「廃車時」の発生量は、廃車台数の減少に伴い、本数では1,300万本、重量では11万8,000トンと前年と比較していずれも減少した。

2. リサイクル状況

2016年のリサイクル利用量は、合計で90万3,000トンと前年より19,000トン減少し、リサイクル率は91%と1ポイント低下した。

3. その他

近年、国内発生分の廃タイヤだけでは必要量を満たすことが出来ない利用先が、海外から廃タイヤの切断品/破砕品を有価購入する状況が続いている。

2016年の輸入量は合計約6万6,000トンで、前年の約7万4,000トンから8,000トン減少。2013年の約11万トンをピークに年々減少している。

なお、当会が公表しているリサイクル状況は、国内で発生した廃タイヤ（使用済みタイヤ）についての集計結果であり、この輸入量は含んでいない。

以上

1. 廃タイヤ(使用済みタイヤ)のルート別発生量

本数:百万本、重量:千トン

		2014年		2015年		2016年		前年比
タイヤ取替え時	本数	84	85%	81	85%	81	86%	100%
	重量	924	88%	877	88%	879	88%	100%
廃車時	本数	15	15%	14	15%	13	14%	93%
	重量	127	12%	122	12%	118	12%	97%
合計	本数	99	100%	95	100%	94	100%	99%
	重量	1052	100%	1000	100%	997	100%	100%

2. 廃タイヤ(使用済みタイヤ)のリサイクル状況

単位:千トン

			2014年		2015年		2016年		前年比	
			重量	構成比	重量	構成比	重量	構成比		
リサイクル利用	国内	原形加工利用	更生タイヤ台用	59	6%	56	6%	53	5%	95%
			再生ゴム・ゴム粉	106	10%	105	11%	104	10%	99%
			その他	3	1%	3	1%	5	1%	167%
			小計(A)	168	16%	164	16%	162	16%	99%
	国内	熱利用	製紙	415	39%	439	44%	407	41%	93%
			化学工場等	46	4%	51	5%	58	6%	114%
			セメント焼成用	53	5%	59	6%	63	6%	107%
			製鉄	27	3%	20	2%	19	2%	95%
			ガス化炉	50	5%	49	5%	51	5%	104%
			タイヤメーカー工場	22	2%	23	2%	23	2%	100%
			中・小ボイラー	2	1%	2	1%	5	1%	250%
			小計(B)	615	58%	643	64%	626	63%	97%
	海外	輸出	中古タイヤ	130	12%	108	11%	108	11%	100%
			カットタイヤ	8	1%	7	1%	7	1%	100%
			小計(C)	138	13%	115	12%	115	12%	100%
リサイクル利用合計(A+B+C)			921	88%	922	92%	903	91%	98%	
埋め立て			1	1%	1	1%	1	1%	100%	
その他			130	12%	77	8%	93	9%	121%	
小計(D)			131	12%	78	8%	94	9%	121%	
合計(総発生量:A+B+C+D)			1052	100%	1000	100%	997	100%	100%	

※数値は四捨五入しているため、各項目を合算した値は合計(小計)項目の値と一致しない場合があります。

廃タイヤの不法集積・不法投棄状況

(2017年2月末調査結果)

一般社団法人日本自動車タイヤ協会

1. 調査結果

	不法集積					不法投棄				
	2016年2月		2017年2月		差 (b-a)	2016年2月		2017年2月		差 (b-a)
	件数	重量(トン) a	件数	重量(トン) b		件数	重量(トン) a	件数	重量(トン) b	
北海道	5	2,000	5	2,000	0	1	20	1	20	0
東北	16	3,615	16	3,615	0	4	360	4	360	0
関東甲信越	22	8,817	22	8,769	-48	2	130	2	130	0
首都圏	5	1,425	4	1,395	-30	5	424	5	435	11
中部	7	9,200	7	9,200	0	0	0	0	0	0
近畿	3	564	3	564	0	1	2,000	1	2,000	0
中国	3	250	2	250	0	3	415	3	415	0
四国	2	183	2	183	0	1	25	1	25	0
九州	9	5,890	10	5,990	100	3	410	3	390	-20
合計	72	31,944	71	31,966	22	20	3,784	20	3,775	-9
						新規 処理完了	3件 4件			

・1件あたり、1,000本以上の物件で、不法の可能性のあるものを全てを集計。

・廃タイヤ1本の重量を10kg(100本=1トン)として計算したもの。

・各項目の定義は、次の通りとする。

不法集積：業者の倒産、逮捕、行方不明等によるもの

不法投棄：投棄した行為者が不明のもの

2. 考察

2017年2月時点での不法集積・不法投棄の合計数量は、91件、35,741トン。

昨年2月の調査時と比較して、1件減少、13トンの増加となった。

新規案件の3件は、新たな情報として確認されたものであり、新規に発生したものではない。

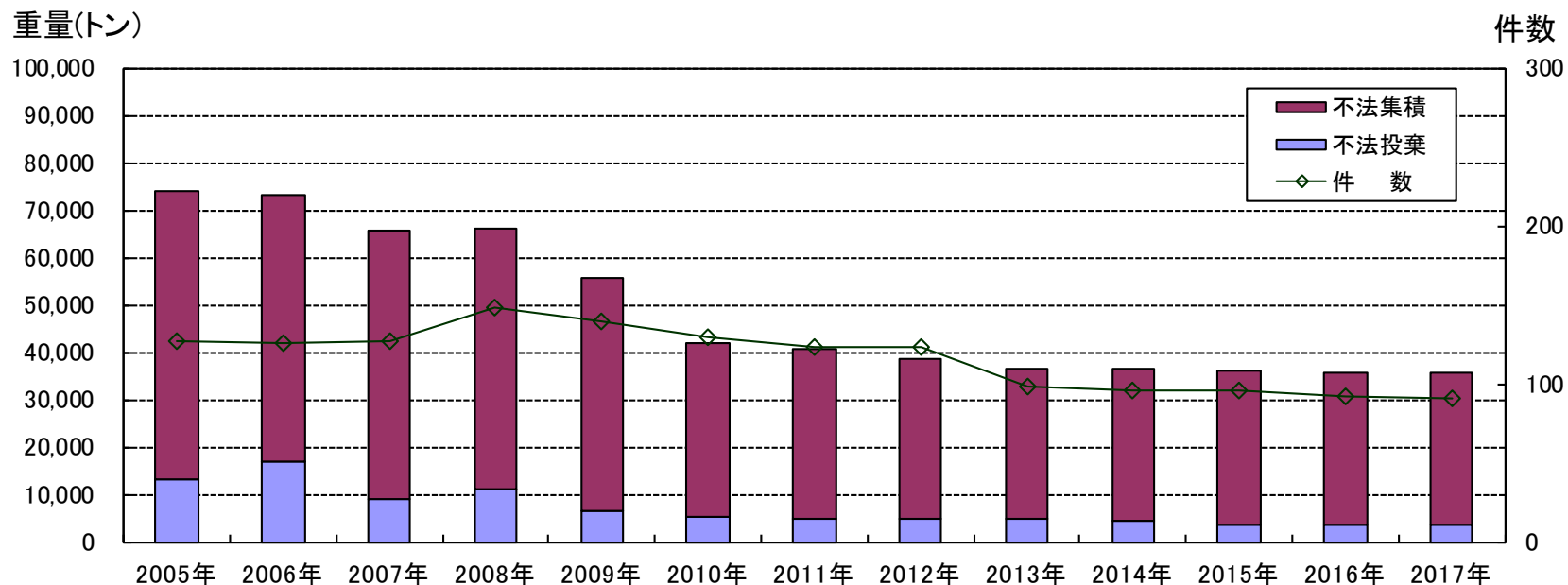
代替燃料での需要は依然として高く、全体的に不法集積・投棄は減少傾向にある。

3. 原状回復

昨年1年間で、自治体及び行為者が撤去作業を行なった件数は、合計で4件。

このうち、当会の原状回復支援制度を利用したものは、1件（岐阜県瑞浪市）。

不法集積・不法投棄状況推移



単位：トン

	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
不法集積	61,080	56,580	56,660	54,670	49,231	36,858	35,693	33,669	31,831	31,948	32,535	31,944	31,966
不法投棄	13,110	16,870	9,090	11,350	6,648	5,241	4,996	5,008	4,948	4,589	3,794	3,784	3,775
件数	127	126	127	148	140	130	124	123	99	96	96	92	91